

9月20日～26日は 動物愛護週間

生活安全課 ☎823-9208
☎823-7927



ペットの中でも犬と猫は、最も身近な動物として私たちの生活にとけこんでいます。一方で、鳴き声やふん尿、放し飼いなどマナーを守らない飼い方による問題も発生しています。

動物愛護週間を機会に、飼い主はペットとの接し方を見つめ直し、マナーを守り、正しく飼いましょう。

- 犬を飼っている人は
- ・散歩のときは、必ず引き綱（リード）をつける。また、ふんを回収できるように準備し、後始末をして、家まで持ち帰る。
 - ・無駄にほえさせない、トイレの場所を覚えさせるなどのしつけをする。
 - ・犬を登録し、毎年狂犬病予防注射を受ける。鑑札と注射済票は犬に身につけさせる。
 - ・飼い犬が人をかんだら、被害者に適切な処置をとり、県動物愛護センター（☎0848-86-6511）へ届け出る。

- 猫を飼っている人は
- ・室内飼いをする。（病気の感染や事故による被害の防止、ふん尿などで周囲に迷惑をかけないため）
 - ・ふん尿は自宅の決まった場所にするようにしつける。
 - ・飼い主が分かるように首輪と名札をつける。

- 無責任な飼育はしない
- ・繁殖を希望しない場合は避妊・去勢の処置をする。
 - ・犬や猫を飼うには、大変な労力と時間、費用がかかることを飼う前によく考える。いったん飼いはじめたら、最後まで愛情を持って責任ある飼い方をする。
 - ・飼い主のいない犬や猫に、無責任に餌だけやることはやめる。

どうぶつ愛護のつどい

動物とのふれあいを通じて、動物愛護と適正な飼養についての関心・理解を深めるイベントです。今年度は東広島市で開催されます。どうぶつ愛護のつどいで「命の大切さ」に触れてみてはいかがでしょうか。

日時◆9月22日(土) 10時～15時
場所◆東広島市中央生涯学習センター、西条中央公園（東広島市西条栄町7-48）
内容◆動物ふれあい広場、動物何でも相談、どうぶつ映画上映、絵画展ほか
問い合わせ◆県動物愛護センター☎(0848)86-6511 東広島市環境対策課☎(082)420-0928

広島広域都市圏共同鑑賞 音楽の花束～広響名曲コンサート「秋」

問い合わせ 広島広域都市圏協議会事務局 ☎504-2017 ☎504-2029

中国地方で唯一のプロオーケストラ「広島交響楽団」の演奏をみんなで鑑賞しましょう。

日時◆10月14日(日) 15時開演
場所◆広島国際会議場フェニックスホール
定員◆100人（申込多数の場合は抽選）（小学生未満は入場不可）
参加費◆2,000円（S席）
※抽選で広島交響楽団のグッズをプレゼント。
申し込み◆9月18日(火)（消印有効）までに往復はがき（1枚に4人まで）で、参加者全員の住所、名前、年齢、電話番号を〒730-8586 広島市役所分権・行政改革推進課内 広島広域都市圏協議会事務局へ
※ホームページ（<http://www.ri-bura.com/>）からも申し込みできます。



下水道

下水道課 ☎823-9211
☎823-9839

竹貞地区（寺迫二丁目・曾田・国信一丁目）の雨水対策工事が始まります！

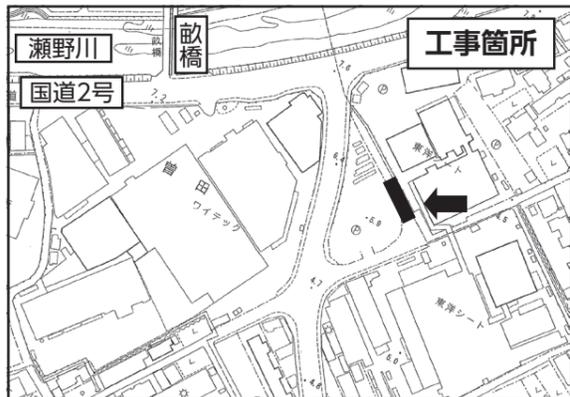
下水道の役割の一つに、「街に雨水がたまらないようすばやく処理する」があります。

近年、頻発する集中豪雨や都市化の進展に伴い、雨水流出量が増加し、全国各地で浸水被害をもたらしています。

海田町の竹貞地区は、瀬野川と三迫川に囲まれた低地になっているため、大雨が降ると道路が冠水するなどの被害が出ています。この対策として、雨水貯留管を整備します。

今年度は、来年2月までの予定で工事を実施します。この工事は、大雨のとき一時的に雨水を貯めて、雨水の流出を抑制する施設を布設するもので、この年で実施していきます。

工事期間中は通行止めや片側通行などで、住民の皆さんにご迷惑をお



かけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



▲平成23年8月の道路冠水。雨水貯留管が完成すると、このような被害が緩和されます。

Q&A

- Q 雨水施設ってどんなもの？
A 雨水をくみあげて川や海に放流するポンプ場や、たくさん雨水がいつべんに流れ込んでこないよう雨を一時的に貯めて、雨水の流出を抑制するための雨水貯留管設備などがあります。
- Q どんな施設を作るの？
A 雨水をためる施設を、道路の下に埋めます。容量は約1,000㎡で4m×3mのボックスカルバートです。

- Q 「浸水」と「冠水」って違うの？
A 住宅などが水に浸かることを「浸水」、田畑や道路などが水に浸かることを「冠水」といいます。

- Q 最近よく道路が冠水するのはどうして？
A 森林や農地などは、保水・遊水能力が大きく、雨を浸透させたり蒸発させるなど、時間をかけて雨水をゆっくりと流出させる機能がありますが、近年の都市化の進展によって、地表面が舗装されたり宅地化が進んだため、地表に流出する雨の量が増えてきたものと考えられます。

「下水道の日」 東部浄化センター一般公開

圃財団法人広島県下水道公社
☎286-8200
☎286-8188

下水道
お水がいつてる またくるね

日時◆9月8日(土) 10時～16時
場所◆太田川流域下水道東部浄化センター（広島市南区向洋沖町一丁目）
内容◆流域下水道、浄化センターの説明・案内、めだかすくい体験など